

地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

事業所名：特別養護老人ホームしおさい新館

サービス種類：グループホーム ・ 小規模多機能型居宅介護

■地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護

地域密着型通所介護 ・ 認知症対応型通所介護

日時：令和2年10月2日（金曜日）10時00分～11時00分

場所：しおさい会議室

出席者：8人

| | | | |
|--------------------------------|----|---------|----|
| 利用者代表 | 0人 | 知見を有する者 | 0人 |
| 利用者家族 | 2人 | 大田市職員 | 1人 |
| 地域住民の代表 | 2人 | | |
| 事業所職員（職名：施設長 施設課長 ユニットリーダー） | | | 3名 |

報告事項：

利用者の状況

- ① 入所者の人数 20名（退所2名 入所2名 定員20名）
- ② 要介護度 要介護5 7名 ・ 要介護4 13名
要介護3 0名 ・
- ③ 男女比率 男性6人 ・ 女性14人
- ④ 年齢 61歳～100歳 平均86.1歳

1. 活動状況報告

- ① 介護職員数 12名
- ② 有資格者数 9名（介護福祉士）
- ③ 感染症罹患患者 0名
- ④ 苦情相談 0件
- ⑤ 身体拘束 0件
- ⑥ 介護事故 8月～9月 4件（ずり落ち1件、誤薬1件、表皮剥離1件、その他1件）
- ⑦ 外出者 0名

- ⑧ ボランティア 0件
- ⑨ 特養行事 2件（敬老会、歌の広場2回、作品作り）
- ⑩ ユニット行事 2件（誕生会2回）
- ⑪ その他 0件

2. 利用状況、介護状況報告

施設長より挨拶：新型コロナウイルスの関係で、面会制限している。10月1日より制限を緩和しようとしていたが、9月25日、26日と県内で発症者がでたので、窓越し面会をお願いしている。25日に発表があって、その後2週間、発症者がいなければ、面会解除も検討している。面会時間はルールを守り、マスク着用をお願いしたい。利用者への差し入れは直接職員に手渡しではなく、テーブルに置いてもらい、それを職員が受け取る形とする。しかし、11月からはインフルエンザの流行が心配となるため、面会に関しては随時対応を変えていくようになると思う。

3. サービス提供の状況

ユニット行事 2件

- ・8月22日 家族様より本人様にメッセージカードを作ってくださいお渡しする。嬉しかったようで泣いて喜ばれた。
- ・9月23日 本人様希望でチョコレートケーキが食べたいとのこと。ココットで購入しユニットでお祝いした。利用者よりお祝いの歌や拍手を誕生日の方に贈られ、本人様も「ありがとね」と大変喜ばれていた。今度はケーキを買ったココットへ食事をしに行ってみたいと話され次回外出支援も考えたい。

特養行事

敬老会：新型コロナウイルスの関係で密を避けるためにユニットで行った。顔なじみの職員と共にユニット利用者全員、式典に出席。式典後は仁摩保育園児が和太鼓を叩いている映像を映したDVDを鑑賞した。昼食も特別食で「おいしい」「珍しい」と皆さんペロリを完食された。また、施設課長手作りのちゃんちゃんこを着て写真をとる場面もあった

工作:機能訓練指導員と共にお月見の工作を行った。「これはここで・・・」と利用者自ら案を出され作品を完成された。男性の方も「やる」といってうさぎをはりつけたりされていた。

4. サービスへの要望、助言、質問等

(地域住民代表) 利用者の中で後見人を受けている人はいるのか。

→ (施設長) 新館で1名いる。社協が受けている。

→ (施設課長) 前年度は家族が後見人になっている人もいたが、たいがいは家族ではない場合が多い。

(地域住民代表) どこも直接面会は中止しているのか。

→ (施設長) どこも中止している(特に医療系)。しおさいは窓越し面会でお願いしている。直接面会の際は家族がマスクを外してしまったり、利用者の身体に触ってしまうことがあり、なかなか難しい部分はあった。しかし、ずっと窓越し面会というわけにいかないので、様子を見ながらルールを守ってもらう事を前提に、県内家族限定で直接面会をしていきたいと思う。コロナウイルスよりインフルエンザの方が現実的で対策をとっている。

→ (施設課長) 今年はインフルエンザの予防接種は利用者から行う。新館は本日 Dr 回診があるのでそこで予防接種を行う。その後職員も接種していく。

(利用者家族代表) 父親から自分の顔を忘れられているように感じる。

→ (ユニットリーダー) 顔を見てもなかなか家族の顔を認識するまでに時間を要す場合がある。後で職員がフォローに入るので忘れてはないと思う。マスクをしていても目元や雰囲気、格好は自分の家族と分かっている。ただ言葉にならないだけなので安心してほしい。また、居室に家族写真を貼り、職員が利用者に声かけや会話の際家族の名前を出すように心がけている。

→ (施設長) 家族、利用者共に会えないという精神的な不安がある。認知症状も進むと思う。

→ (施設課長) 機能訓練指導員が懐メロや身体を動かす体操をしている。

→ (ユニットリーダー) コロナウイルスをきっかけにユニットとして何ができるか考えさせられる良いきっかけとなった。今後もユニットで利用者一人ひとりに合ったケアや行事を考え実施していきたいと考える。